

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (令和2年度) 2020年度

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場所	会員参加数
	11	20	金	13:15	15:00	農大跡地	9
活動名称	農大跡地視察結果					報告者：小沼	

<活動目的>

11月1日、農大跡地が埼玉県庁から鶴ヶ島市に移設されたので今後の跡地の管理運営、取り扱の考え方等について市役所都市計画課公園担当より当クラブに視察要請があり実施した。視察後、市役所と一定の協議をした。

<視察結果>

緑地保全の面積は約6.6haと広大であり、現時点では草刈り等がなされていて整地されていたが、夏場になれば雑草の生い茂る荒地となることは明確であり、作業対象場所としてかなりの労力が必要とされることを体感できた。

<主な協議内容>

- 市としては農大跡地の自然環境の確保、特に大谷川の源流となる湧水場所の維持、野生生物の生育保護等から一定空間を保全することが必要であり、将来にわたりこの環境を維持運営するためには市民の皆さんの力も借りながら進めていきたいとの意向であった。
- 里山クラブとしては以下の要請・意見交換をした。
 - ・当該場所の保全は地域の皆さんが主体となって取り組むべきものである。わがクラブはその取り組みの一翼として参加することは了解する。
 - ・わがクラブの諸活動は多岐にわたっており、また、高齢化している現実もあり、できるものから取り組むことになる。
 - ・提案として、農大跡地を整備するため、市民を対象にボランティア活動の会員募集を図ってもらいたい。当クラブとして資材提供、作業ノウハウ等については提供していきたい。
 - ・現在、IHIが稼働しているが、将来の参加企業も含め、当該地の企業も保全活動に参加できるように要請してもらいたい。
 - ・市内の他の市民活動団体とも協働して役割分担を図り一緒に活動することが望ましい。
 - ・整備の方法として当該該当地全てを管理することは難しくなるので散策路の整備を中心に、自然林として残すところはそのままにする等メリハリをつけた取り組みが必要である。

<課題・評価>

市役所との具体的協議は初めてであり、今後、引き続いて相談・意見交換をしていきたい。

<里山参加会員>

小澤邦、佐野英、吉井、井上、柳川、小沢弘、横手、橋本、小沼

<市役所>

都市整備部都市計画課小久保主幹、他2名

<活動写真>



以上